



どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

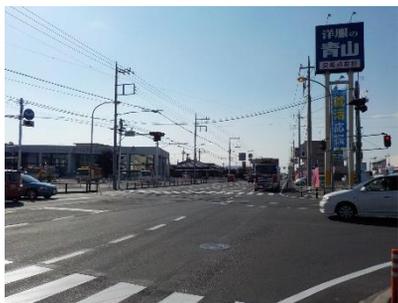
電線を地中化して電柱を撤去します

地元の声

- ・東北自動車道にもつながる主要道路。災害時も通れるようにしてほしい。(地元住民)
- ・狭い歩道のなかに電柱があるため、歩きづらい。(地元住民)

事業前

- ◆電柱があるため、災害時に電柱が倒壊し、道路が寸断されるおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆道路上の電柱がなくなり、災害時の安全な通行が確保されます。



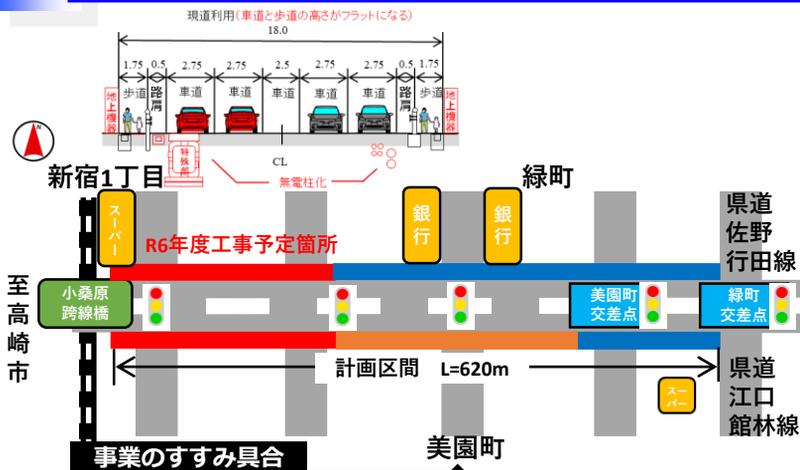
事業後のイメージ(一例)

事業の概要

- 事業箇所：館林市緑町
- 事業内容：電線共同溝整備 延長 1,240m
- 事業期間：平成27年度～



事業の進捗状況(令和6年3月末現在)



今、何をしているか

令和6年度は、引き続き電線共同溝工事(電線を地中へ収容するための管路等の敷設)を進めます。



現在の工事状況



R6工事予定箇所